

## 地摺柳の由来

此の柳世に地摺りの柳として古来庶人に親しまれる名木である春陽風に靡びき其枝地面を撫で和やかなる風情は比類稀なればなりその由来は池坊の祖小野妹子大臣屢々唐に使ひせし時獲て携へ歸りたるを聖徳太子この堂建立に当りこゝに移し植えたりと云ふ、古来縁引又糸引の柳と称へ縁結びの霊樹と云ふ市家の需むる人々も多くは双方この樹下に集まりて互ひに雇傭の契約を取り結びたるハ明治の頃まで行はれたり、又祇園會山鉾巡行の順位は其都度所司代役人この樹下に出張りて籤引に立會ひたるハ皆人の知る所なり、其他縁結びに奇しき傳説等様々旧記に見る所なり昭和廿七年九月親木枯損に依り其苗木を移し植えたるものなり

昭和二十八年二月

六角堂

○ギンリョウソウの受粉 (田中 肇) Hajime TANAKA: Pollination of *Monotropastrum globosum*

ギンリョウソウの花はその形状から虫媒花であろうとは推定できたが、薄暗く湿っぽい林床の地上近くに咲くこの花に、どのような昆虫が訪れ、いかに受粉させられるのか、想像することができなかった。梅雨が小休止した 1977 年 6 月 27 日、埼玉県入間郡日高町でこの花とその来訪昆虫の行動を観察する機会を得た。

**花の構造：**花は高さ 5~10cm の茎に頂生し、横〜下むきにつく。花冠は鐘形で長さ 14~15 mm、3~5 枚の肉質で白色の花弁からなる。花の中央にはトックリ形の雌蕊があり、その周囲を 10 個ほどの雄蕊がとり囲んでいる。雄蕊は長さ約 11 mm で、湾曲した花糸が褐色の葯を柱頭直下に押しつけている。蜜は花糸の間から先端をのぞかせている蜜腺から分泌され、花弁の基部近くに貯えられる。花を正面から見ると、直径 5 mm ほどの漏斗形の柱頭と花弁との間には葯がすきなく並んでいる。昆虫の口先を模して針をさしこんでみると、葯と柱頭との間には入りにくく、針先は自ずと葯と花弁との間に導かれる。そのさい、ゆるく閉じている葯に触れるので、針には透明で粘り気のある花粉がつく。

**来訪昆虫：**構造を見るため花を数個解剖したさい、アリの 1 種とアザミウマの 1 種を 1 頭ずつ花中に見た。しかしこの 2 種は花に比し小形であり、また移動は歩行が主であるため、この花の送粉者とは考え難い。

ここでは、送粉者としてトラマルハナバチを観察することができた。当日、林床にギンリョウソウの花を見出したとき、そこでは 1 頭のトラマルハナバチが活動していた。トラマルハナバチは花につかまり、位置を変えながら同一の花に 2~3 回、頭部を中ば押し込んで蜜を吸っていた。そのハチは数花訪れた後飛び去った。それから 1 時間 35 分後の 11 時 45 分に再び飛来し、5 分ほど吸蜜して去った。次には 12 時 37 分から、

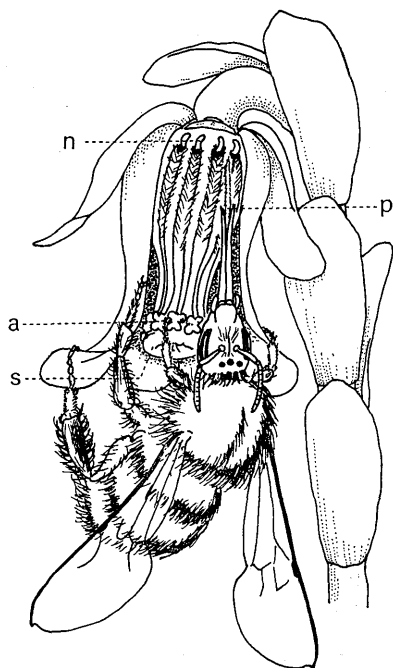


Fig. 1. Flower of *Monotropastrum globosum* and the pollinator, *Bombus diversus*, showing the mating proportions of the proboscis and flower tube. a: anther, n: nectar, p: proboscis, s: stigma.

地上に姿を見せしている花11個と、まだ落葉の下にある花の集団の中にもぐりこみそこで2〜3分吸蜜し、7分後に去った。最後に12時57分から13時5分までの8分間に、地上の花を7個と落葉の下の花への訪問を見て、観察をうち切った。

考察：以上の観察から、トラマルハナバチはギンリョウソウの花を押し開けて蜜を吸うことができ、そのさい頭部や肢先は葯や柱頭に触れて花粉を媒介し、また落葉の下にあって目につきにくい花をも訪れ、訪花回数も多いなど、この花の有力な送粉者と考えられる。一方ギンリョウソウの花は、下むきに咲き、蜜はマルハナバチの口吻がちょうどどく深さにあり、蜜への入口は閉じているなど、いくつかの形状がマルハナバチの習性や形態に符号しており、典型的ではないがマルハナバチ媒花であると言えよう。

### Summary

The pollination of *Monotropastrum globosum* (Pyrolaceae) was observed by the author at Hidaka-machi, Saitama Prefecture. The bumble-bee, *Bombus diversus*, inserts its head into this drooping flower and it sucks with its long proboscis the nectar secreted from the nectar glands in the bottom of this flower.

(東京都練馬区 [redacted])